

農業界とスポーツ界との連携に関する勉強会
第 2 回 議事概要

日 時：令和 7 年 9 月 1 日（月） 13：00～15：00

場 所：農林水産省 講堂

出席委員：別紙のとおり

概 要：

冒頭、小林経営局長からの挨拶ののち、農林水産省経営局から資料 1 に基づき前回のご指摘への対応について説明を行い、また、近藤委員から資料 2 に基づき ESDGZ OTAKI の取組みに係る現状と課題について、一政委員から都農町の取組について御説明いただき、委員等から御意見をいただいた。

（委員等からの主な御意見）

- 若者は、やりがいややった分だけの報酬があることに魅力を感じていることが多く、スポーツと農業に親和性がある。
- 現役時代に他業種についての情報を得る機会が少ないため、そのような機会をどう整えていくかが課題。また、現役時代のみならず、学生時代から農業に関わる機会を確保することも必要。農業界とスポーツ界の間で上手く橋渡しをして情報を提供することができれば、親和性はあるので、農業に関心を持つ選手も一定数いるのではないかな。
- 実際に、選手が引退後の仕事として農業を選んでもらうためには、農業はやりがいがあること、農業で生計が立てられる環境を作ること、といったことが重要であり、そのビジョンをしっかりと示すことが前提となるのではないかな。農業のやりがい、安心感を持って取り組めるということをアピール・プロモーションし、ボランティアではなく、仕事として取り組んでいただくためにどうするかという観点が重要ではないかな。
- 農業の担い手不足等の課題の根本的な解決のためには大規模な支援、仕組みづくりが必要ではないかな。税制面の支援なども考えてはどうか。
- 農業者として一人前になるためのステップを明確にして、栽培可能な品目・栽培スケジュール等の情報も含めて指導できる者と農業に取り組もうとする選手とを高い精度でマッチングさせる仕組みづくりが必要ではないかな。
- 新規就農者への経営アドバイスは重要であり、地方銀行や農業経営アドバイザー等も巻き込むこと、また、周辺産業との連携について情報を得られる場なども考えられるのではないかな。
- 一定程度稼げるようになるまでの農業者、法人としての取組みをどうスポーツと連携しながら支えていくかが重要。
- 就農段階において、農業者や自治体職員と直接話し、各自治体の支援や環境、どの品目が稼げるのかななどの情報が得られる機会がより多くあると良いのではないかな。
- 選手として活動しながらオフの時間で農業をするためには、所属クラブや指導者の理解が必要となるため、選手以外のチーム関係者へのアプローチも考えていくべきであり、農水省とスポーツ庁が連携して取り組んでほしい。

- チームとして農業に取り組む際、チーム関係者だけではなく、農作業や農業経営の指導ができる専門職を置くことが望ましい。その方法の一つとして、チームと農業法人とが連携をして、農業法人の中で選手が農業をする形がよいのではないかな。
- 自治体と連携しながら、地域特性のある作物をチームや選手に取り組んでもらい、地域活性化につながる施策にしていけると良いのではないかな。

(以上)

(別紙)

第2回農業界とスポーツ界との連携に関する勉強会 委員等一覧

【委員】

荒牧 太郎	カフリング東久留米所属 現役フットサル選手 ((一財) 日本フットサル連盟アスリート委員会 前委員長)
一政 幹人 (Web参加)	宮崎県児湯郡都農町役場企画課 企画政策係 主査
岩田 和彦	全国農業協同組合連合会 耕種総合対策部 次長
上野 馨太 (代理出席)	(株) ジャパン・ベースボール・マーケティング代表取締役社長
川島 隆一	川島事務所代表、GCDF-Japan キャリアカウンセラー
菊 幸一	国士舘大学 体育学部 特任教授
近藤 真弘	(特非) ESDGZ OTAKI 副理事長
酒井 大雅 (Web参加)	(株) NTT アグリテクノロジー 代表取締役社長
末松 広行	東京農業大学 教授 (元農林水産事務次官)
丹野 朝香 (Web参加)	元実業団ソフトボール選手
寺尾 恵一	(公社) 日本サーフィン連盟 理事長
村井 満	(公財) 日本バドミントン協会 代表理事 会長
渡邊 徳人	(株) サニーサイドアップグループ 代表取締役

(五十音順・敬称略)

【アドバイザー】

中田 英寿	(株) JAPAN CRAFT SAKE COMPANY 代表取締役
-------	------------------------------------

【農林水産省】

小林 大樹	経営局長
神田 宜宏	大臣官房審議官（兼経営局）
齊賀 大昌	経営局就農・女性課長
勝野 美江	大臣官房政策課政策情報分析官兼新事業・食品産業部外食・食文化課付
尾室 幸子	農林水産技術会議事務局研究企画課長
坪川 優斗	政策 Open Lab「アス→ノウ」プロジェクト代表

【スポーツ庁】

榎井 圭子	スポーツ庁審議官
廣田 美香	スポーツ庁参事官（地域振興担当）

【事務局】

農林水産省 経営局就農・女性課